

令和3年交通事故発生状況(速報)

NEXCO東日本(東京都千代田区)管内において、令和3年1月1日～令和3年12月31日に発生した交通事故件数等について取りまとめましたので報告いたします。

NEXCO東日本では、引き続き交通安全対策に積極的に取り組んで参ります。

注) 資料中の値はNEXCO東日本調べの速報値を用いています。

1 死亡事故(過去5年間)

(NEXCO東日本調べ 速報値)



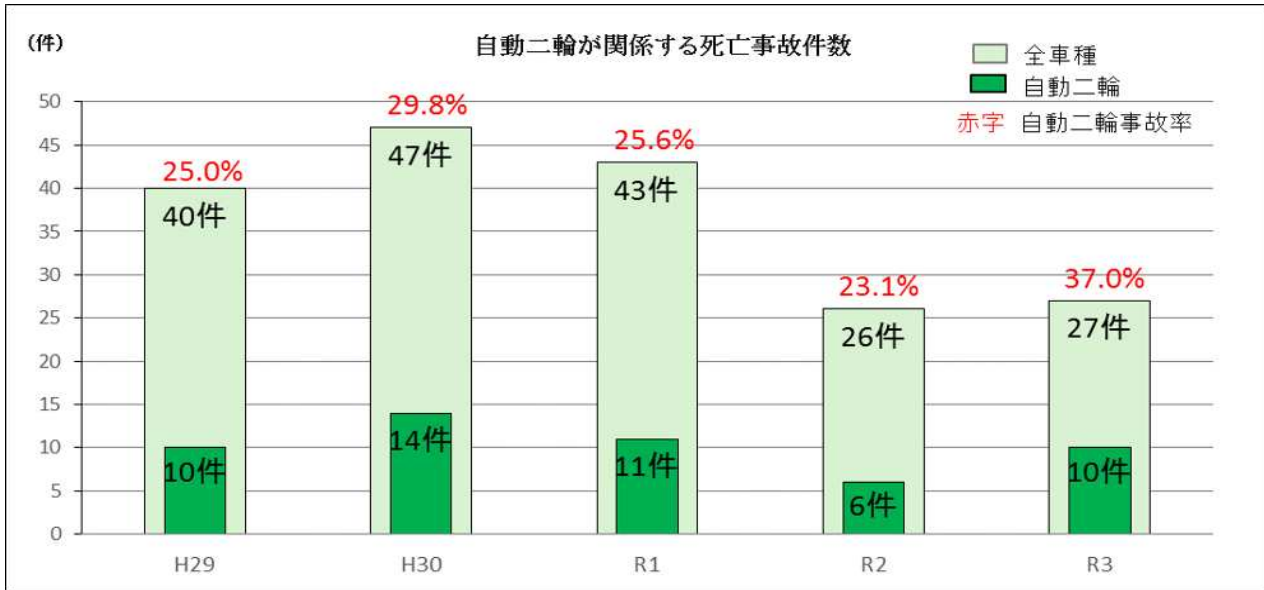
- ・死亡事故件数 : 対R2年比 +1件
- ・死亡事故人数 : 対R2年比 ▲1人
- ・死亡事故率 : 対R2年比 +0.002件/億台[※]

2 死傷事故(過去5年間)

(NEXCO東日本調べ 速報値)



- ・死傷事故件数 : 対R2年比 +62件
- ・死傷事故率 : 対R2年比 +0.155件/億台[※]



- ・死亡事故件数: 対R2年比 +4件
- ・R3年の自動二輪の死亡事故が占める割合(37%)は過去(H18年以降)最大。

令和3年の死亡事故の要因・事例

◆自動二輪車の死亡事故が占める割合(37%)は過去最大◆

◆自動二輪車の交通死亡事故件数 10件(+4件)

【事故事例】

()は前年比、NEXCO東日本調べ(速報)

R3. 8	東北道	自動二輪が中央分離帯側のガードレールに接触し、運転手が落車した。
R3. 10	北陸道	自動二輪が路肩側の防護柵へ接触し縁石に乗り上げ、運転手が落車した。
R3. 11	横浜横須賀道路	自動二輪が走行中の普通貨物に接触し転倒した。

「自動二輪」は、事故の際に体を守るものがないため、重大な事故につながりやすくなります。

あごひもの確実な結着・プロテクター装着・基本姿勢の励行による安全運転をお願いいたします。

● 渋滞のすり抜けは危険がいっぱい



自動車のドアミラーやボディと接触してしまうと、転倒してしまうと考えられます。すり抜け走行は大変危険ですので、おやめください。

● 路肩走行をしない



高速道路での路肩走行は交通違反です。緊急時の救急活動等の妨げとなるおそれがあります。渋滞しているときでも路肩の走行は絶対にやめましょう。

● 前車の真後ろには付かない



前車が前方に異常を発見して急ブレーキをかけたり、落下物を跨いだりする可能性もあるので、車間距離は十分にとりましょう。

● 天候にご注意ください



自動二輪車は自動車と比べ、雨や風など天候の影響を受けやすいため、天候や路面状態が悪いときにはなるべく運転を控え、走行時には、道路状況に応じた安全な速度で走行しましょう。また、橋の上やトンネルの出口などでは横風にご注意ください。

高速道路における交通安全対策等について

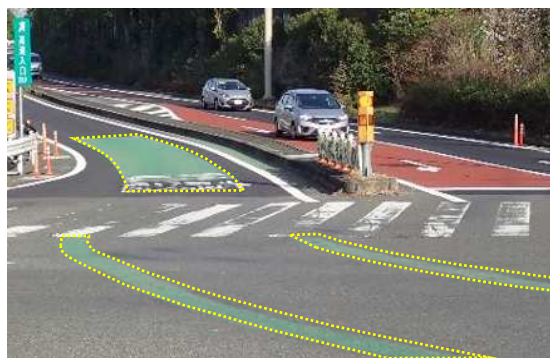
NEXCO東日本では交通事故を防止するため、過去の交通事故の発生状況を分析し、様々な交通安全対策を実施しています。

逆走防止対策

高速道路の入口ICに、正しい進行方向を示す矢印路面標示・看板の設置や隣接する道路管理者と連携して、平面交差部の方向別カラー舗装を実施する等の逆走防止対策を推進しています。



正しい進行方向を示す看板(破線内)



一般道から連続したカラー舗装(破線内)

暫定二車線区間の正面衝突事故防止対策

上下線がラバーポールで区分されている暫定二車線の高速道路では、正面衝突事故防止対策として、区画柵の設置、検証を行っています。



センターパイプ



センターブロック

交通安全啓発

警察と連携した交通安全運動や交通安全講習会等を通じて、高速道路をご利用されるお客さまに対して交通安全啓発に取り組んでいます。



交通安全運動・交通安全講習会



ポスター・リーフレット



ツイッター